

在宅医療に係る医療機能の 把握のための調査

歯科医療機関

令和8年度
岡 山 県

目 次

I 調査概要	1
1 調査の概要	1
(1)調査目的	1
(2)調査方法	1
(3)回収結果	1
(4)報告書の見方	1
II 調査結果	2
1 調査結果の概要	2
2 基本情報	3
(1)診療報酬の施設基準の届出状況	3
(2)所在地	4
(3)歯科訪問診療対応市町村	6
3 人員体制	7
4 日常の療養支援	8
(1)歯科訪問診療の実施状況	8
(2)小児歯科訪問診療の実施状況	8
(3)将来(10年後を想定)に向けた歯科訪問診療の実施意向	9
(4)上記を選んだ理由	10
(5)歯科訪問診療料1～5の算定	12
(6)訪問口腔衛生指導の実施状況	14
(7)訪問歯科衛生指導料の算定	15
(8)栄養サポートチーム等との連携	19
(9)在宅療養支援病院又は在宅療養支援診療所からの歯科訪問診療の依頼	21
(10)他機関からの情報提供	22
(11)18歳未満の在宅療養児の他機関からの情報提供	24
(12)多職種連携時のICTの活用	26

I 調査概要

1 調査の概要

(1)調査目的

医療機関ごとの訪問診療の実施可能件数や訪問診療への参入意向等について実態調査を行い、在宅医療の現状を把握する。調査結果については、令和8年度に実施する第9次岡山県保健医療計画の中間評価に際し、現状を把握するための指標とする。

(2)調査方法

- 1) 調 査 地 域 岡山県内全域
- 2) 調 査 対 象 者 歯科医療機関 985 か所
- 3) 調 査 方 法 郵送配布、郵送または web による回答
- 4) 調 査 期 間 令和8年1月30日～令和8年3月12日

(3)回収結果

	回収数		回収率
	調査票回答 345	688	69.8%
歯科医療機関	Web 回答 343		

(4)報告書の見方

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100%とならない場合がある。
- ・図表中の「n」は number of cases の略で、回答数総数または分類別の回答者数を示す。各比率はnを100%として算出している。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100%を超えることがある。
- ・表内において、**上位1位**、**上位2位**、**上位3位** には色付けをしている。
- ・クロス集計の分析軸(表側項目)は不明・無回答があるため、分類ごとのn数を合計しても全体のn数と一致しないことがある。

Ⅱ 調査結果

1 調査結果の概要

◆ 栄養サポートチーム等との連携について(p.19)

栄養サポートチーム等との連携について、連携を実施しているのは、全体の 4.1%と少数であった。保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏(全体の 4.6%が実施)、津山・英田保健医療圏(全体の 4.3%が実施)、県南西部保健医療圏(全体の 3.8%が実施)が連携実施しており、高梁・新見保健医療圏と真庭保健医療圏では連携実施の回答はなかった。

◆ 他機関からの情報提供等について(p.21～25)

在宅療養支援病院又は在宅療養支援診療所からの歯科訪問診療の依頼について、全体の 6.7%が「有」と回答した。保健医療圏別にみると、津山・英田保健医療圏や真庭保健医療圏など比較的県北地域で「有」との回答が多い傾向がある。

他機関からの情報提供の有無について、全体の 17.6%が「有」と回答した。情報提供がある他機関の詳細は、在宅療養支援病院や在宅療養支援診療所以外の医療機関や介護保険施設からの情報提供について「有」の割合が高い。

◆ 多職種連携時の ICT の活用について(p.26)

多職種連携時の ICT の活用について、活用「有」は全体の 3.2%ほどとなっている。

2 基本情報

(1) 診療報酬の施設基準の届出状況

【診療報酬の施設基準の届出状況】

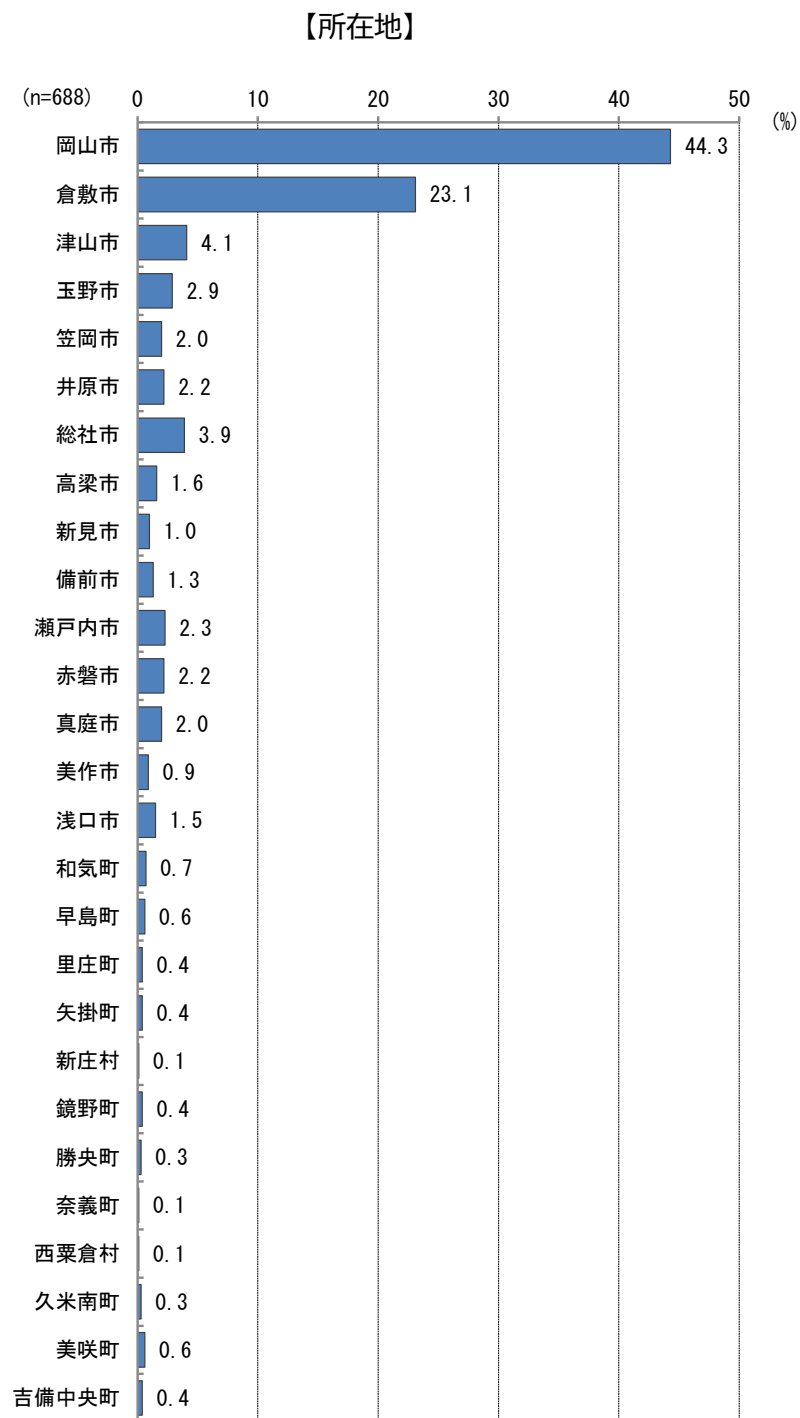
		(%)					
		所 1 在宅療養支援 歯科診療	所 2 在宅療養支援 歯科診療	口 腔 管 理 体 制 強 化 加 算	在 宅 療 養 支 援 歯 科 病 院	届 出 な し	無 回 答
全体 n= 688		11.8	12.4	35.6	1.5	51.2	1.7
保 健 医 療 圏 別	県南東部保健医療圏 n= 373	12.9	12.1	34.3	1.9	52.3	2.4
	県南西部保健医療圏 n= 235	9.8	11.9	35.7	0.9	51.1	1.3
	高梁・新見保健医療圏 n= 18	22.2	22.2	44.4	5.6	33.3	—
	真庭保健医療圏 n= 15	6.7	—	53.3	—	46.7	—
	津山・英田保健医療圏 n= 47	10.6	17.0	36.2	—	51.1	—

診療報酬の施設基準の届出状況について、「届出なし」との回答が51.2%と最も高く、次いで「口腔管理体制強化加算」(35.6%)、「在宅療養支援歯科診療所2」(12.4%)、「在宅療養支援歯科診療所1」(11.8%)などの順となっている。

保健医療圏別にみると、「在宅療養支援歯科診療所2」との回答は津山・英田保健医療圏で1割台後半と高くなっている。

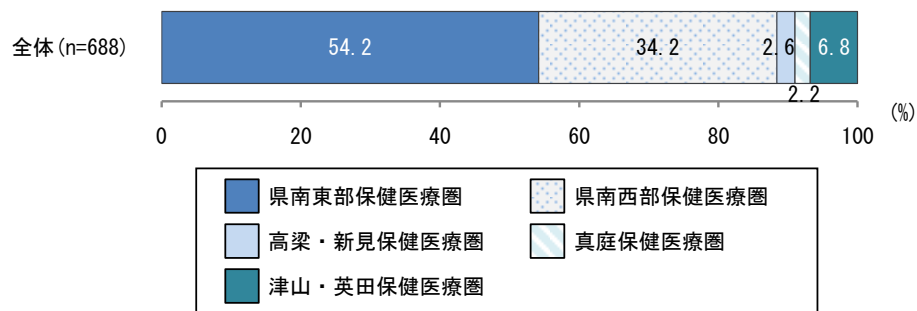
※20人以下の回答者の回答傾向は記述しないこととする（以下同じ）。

(2)所在地



所在地について、「岡山市」との回答が44.3%と最も高く、次いで「倉敷市」(23.1%)、「津山市」(4.1%)、「総社市」(3.9%)などの順となっている。

【保健医療圏】



保健医療圏について、「県南東部保健医療圏」との回答が 54.2%、「県南西部保健医療圏」との回答が 34.2%、「高梁・新見保健医療圏」との回答が 2.6%、「真庭保健医療圏」との回答が 2.2%、「津山・英田保健医療圏」との回答が 6.8%となっている。

(3) 歯科訪問診療対応市町村

【歯科訪問診療対応市町村】

		(%)									
		岡山市	倉敷市	津山市	玉野市	笠岡市	井原市	総社市	高梁市	新見市	備前市
全体 n= 688		39.8	22.7	4.2	3.5	2.3	1.9	4.2	1.5	1.0	2.5
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 373	68.6	3.5	0.3	5.9	-	-	0.8	-	-	4.6
	県南西部保健医療圏 n= 235	7.2	60.9	0.4	0.4	6.8	5.1	10.6	-	-	-
	高梁・新見保健医療圏 n= 18	-	-	-	-	-	5.6	5.6	55.6	38.9	-
	真庭保健医療圏 n= 15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	津山・英田保健医療圏 n= 47	2.1	-	57.4	2.1	-	-	-	-	-	-
		瀬戸内市	赤磐市	真庭市	美作市	浅口市	和気町	早島町	里庄町	矢掛町	新庄村
全体 n= 688		2.6	3.5	2.2	1.0	2.5	1.2	2.3	0.9	0.7	0.1
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 373	4.8	6.4	-	-	-	2.1	1.9	-	-	-
	県南西部保健医療圏 n= 235	-	-	-	-	7.2	-	3.8	2.6	2.1	-
	高梁・新見保健医療圏 n= 18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	真庭保健医療圏 n= 15	-	-	93.3	-	-	-	-	-	-	6.7
	津山・英田保健医療圏 n= 47	-	-	2.1	14.9	-	-	-	-	-	-
		鏡野町	勝央町	奈義町	西粟倉村	久米南町	美咲町	吉備中央町	無回答		
全体 n= 688		0.7	0.7	0.3	0.3	0.6	0.7	1.0	17.2		
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 373	-	-	-	-	0.5	-	1.6	20.1		
	県南西部保健医療圏 n= 235	-	-	-	-	-	-	-	15.7		
	高梁・新見保健医療圏 n= 18	-	-	-	-	-	-	5.6	5.6		
	真庭保健医療圏 n= 15	-	-	-	-	-	-	-	6.7		
	津山・英田保健医療圏 n= 47	10.6	10.6	4.3	4.3	4.3	10.6	-	8.5		

歯科訪問診療対応市町村について、「岡山市」との回答が39.8%と最も高く、次いで「倉敷市」(22.7%)、「津山市」、「総社市」(ともに4.2%)、「玉野市」、「赤磐市」(ともに3.5%)などの順となっている。

3 人員体制

【歯科医師数】

(人)

	歯科医師数	うち在宅医療を担当する歯科医師数 (常勤数)	うち在宅医療を担当する歯科医師数 (非常勤数)	在宅医療を担当する 非常勤歯科医師 常勤換算値
全体	1107.40	510.20	117.20	68.21
県南東部保健医療圏	612.40	262.20	72.20	44.19
県南西部保健医療圏	386.00	189.00	31.00	20.72
高梁・新見保健医療圏	26.00	16.00	1.00	0.00
真庭保健医療圏	18.00	11.00	1.00	1.30
津山・英田保健医療圏	65.00	32.00	12.00	2.00

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

歯科医師数は、1107.4 人のうち在宅医療を担当する常勤歯科医師は 510.2 人、非常勤歯科医師は 117.2 人となっている。

保健医療圏別にみると、県南西部保健医療圏で歯科医師 386 人のうち在宅医療を担当する常勤歯科医師が 189 人、津山・英田保健医療圏で歯科医師 65 人のうち在宅医療を担当する常勤歯科医師は 32 人とほぼ半分を占めている。

【歯科衛生士数】

(人)

	歯科衛生士数	うち在宅医療を担当する歯科衛生士数 (常勤数)	うち在宅医療を担当する歯科衛生士数 (非常勤数)	在宅医療を担当する 非常勤歯科衛生士 常勤換算値
全体	1869.60	622.50	224.70	125.70
県南東部保健医療圏	970.10	325.50	122.70	72.78
県南西部保健医療圏	737.50	228.00	81.00	50.52
高梁・新見保健医療圏	43.00	16.00	11.00	2.40
真庭保健医療圏	29.00	11.00	2.00	0.00
津山・英田保健医療圏	90.00	42.00	8.00	0.00

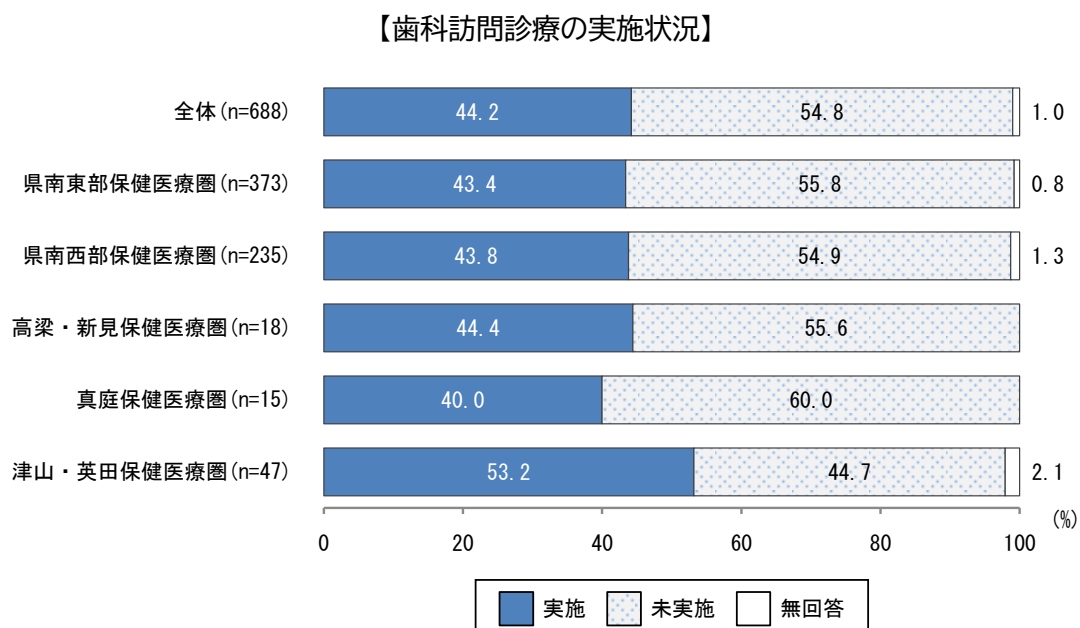
※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

歯科衛生士数は、1869.6 人のうち在宅医療を担当する常勤歯科衛生士は 622.5 人、非常勤歯科衛生士は 224.7 人となっている。

保健医療圏別にみると、津山・英田保健医療圏で歯科衛生士 90 人のうち在宅医療を担当する常勤歯科衛生士は 42 人とほぼ半分を占めている。

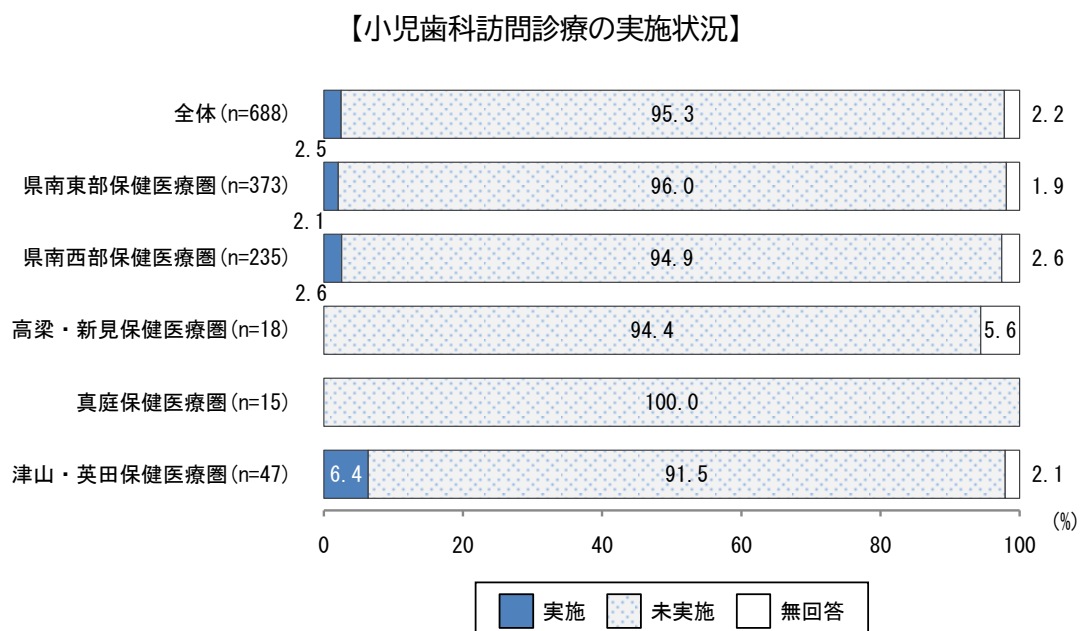
4 日常の療養支援

(1) 歯科訪問診療の実施状況



歯科訪問診療の実施状況について、「実施」との回答が44.2%、「未実施」との回答が54.8%となっている。保健医療圏別にみると、「実施」との回答は津山・英田保健医療圏で5割台前半と高くなっている。

(2) 小児歯科訪問診療の実施状況

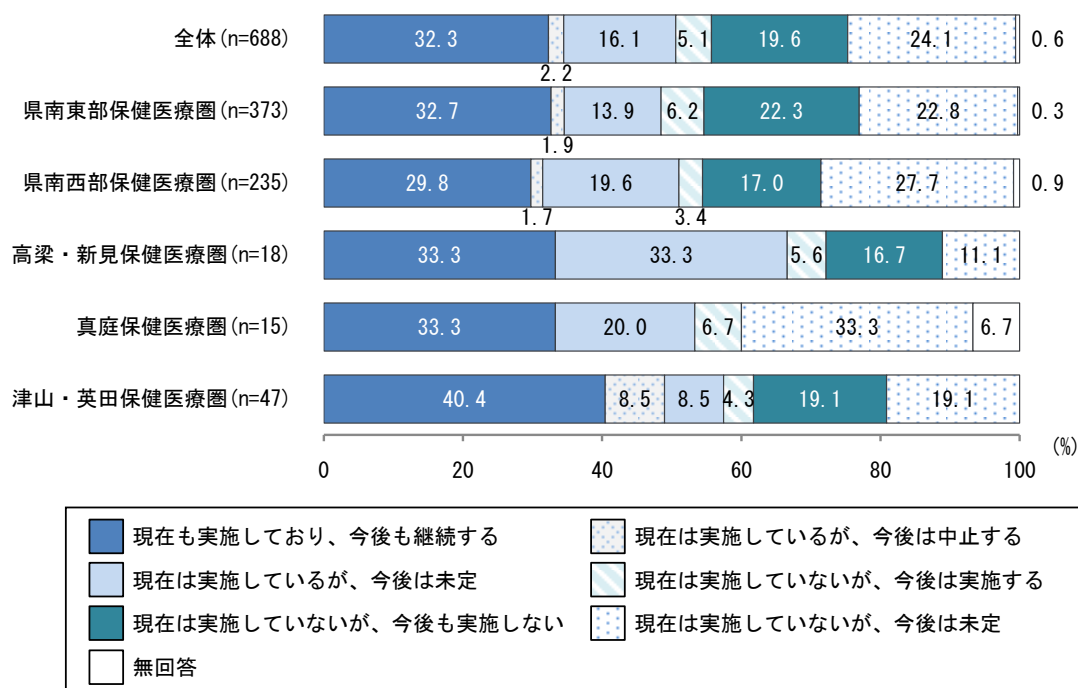


小児歯科訪問診療の実施状況について、「実施」との回答が2.5%、「未実施」との回答が95.3%となっている。

保健医療圏別にみると、小児歯科訪問診療の実施状況に大きな差はみられない。

(3)将来(10年後を想定)に向けた歯科訪問診療の実施意向

【将来に向けた歯科訪問診療の実施意向】



将来に向けた歯科訪問診療の実施意向について、「現在も実施しており、今後も継続する」との回答が32.3%、「現在は実施しているが、今後は中止する」との回答が2.2%、「現在は実施しているが、今後は未定」との回答が16.1%、「現在は実施していないが、今後は実施する」との回答が5.1%、「現在は実施していないが、今後も実施しない」との回答が19.6%、「現在は実施していないが、今後は未定」との回答が24.1%となっている。

保健医療圏別にみると、「現在も実施しており、今後も継続する」との回答は津山・英田保健医療圏で約4割、「現在は実施していないが、今後は未定」との回答は県南西部保健医療圏で2割台後半と高くなっている。

(4)上記を選んだ理由

現在も実施しており、今後も継続する	当院をとり巻く環境の中で、高齢化率が2025年度には38%に達する見込みとなっており、独居高齢世帯の増加傾向がある。一方で、少子、転出超過による人口減少が続いている。今後、外来受診から在宅医療へ移行する方向へ進むと思われる。
	小児の訪問診療を行っていて、必要性を実感できている。
	高齢化が進んでおり必要性が高まってくるのではないかなと思うから。
	現在も必要であり、10年後さらに需要が高まる地域であるため。
	今まで通院してくださっていた患者さんが高齢化により、認知症や歩行困難になるケースに対応するため。
	33年前より、歯科訪問診療を継続実施してきたので、ほぼ実地を知り尽くしている。
	高齢化により、通院困難な患者が増え、訪問診療の必要性は今後も高いと考えるため。
	この地域には訪問診療を行っている歯科医院がないため。
	インプラントの管理が必要なため。
	可能な限り地域医療に貢献する。
	患者および連携医科からの要望があるため。
	外来患者が継続して口腔ケアや義歯調整を望むため。
	現時点で担当歯科医師、担当歯科衛生士が在籍している。
	社会的な役割と考える。
	医療法人の方針のため。
	順調にいけば10年後には子供が歯科医院を継承してくれるはずなので訪問歯科診療で地域医療に貢献したい。
	高齢化と歯科施設減少が進み、地域の要求は高まると想定されるため。
中止する	ニーズに応え、ご要望があった時に応えられる体制を維持するため。
	地域の歯科医師としての責務だと思います。
	閉院予定。
現在も実施しているが、今後は未定	高齡のため。
	依頼がない。あったとしてもこちらの都合にあう診療時間帯ではない。
	訪問診療で可能な治療は限られており、患者及び患者家族の要望に答えられない場合が多い為。
	現在、件数は少ないがニーズがあれば実施している。高齡となり廃業の可能性が高い。
	通院されていた患者さんが来院できなくなった場合訪問している。依頼がなければ実施しない。他から依頼されないので通院されていない方の訪問を受けるか未定。
	依頼があれば実施可能だが、ここ数年依頼なし。
	常勤歯科医師が高齡のため。事業継続が未定。
	体調不良の為。
	機材搬入等、体力的問題。
	まだ始めて1年あまりであり、今後の情勢が読めないため。
	閉院予定。
	診療室の方が忙しく、手が回らない。
	訪問歯科診療を行う設備が整っていない。
	訪問にかける時間が不足。
	依頼があれば実施する予定。
	スタッフの確保が難しい。

が、現在は実施していない	施設基準を制定できたら。
	小児が中心の診察体制であるが、一般診療も行っており希望者がでてこれたら検討します。
	マイナンバーに対応できていない。
	スタッフの任用、教育の準備中である。
	過去に訪問診療していたが、現在は訪問診療していない。患者さんの希望があれば訪問診療を行います。
	限られた治療になるかもしれないが、出来る限り患者の口腔内の状態の向上を目指しているため。
現在は実施していないが、	来院患者さんがご高齢になってきているため。
	ニーズが増加するため。
	閉院の予定。
	歯科医師が高齢のため。
	設備投資の余裕がなかった。算定が複雑、技術的に満足な対応が困難。
	体力不足のため。
	歯科医師、スタッフの人数が足りない。
	矯正専門歯科医院のため。
	外来で時間が取れないため。
	保険請求（介護保険含む）が複雑であるため。
現在は実施していないが、	歯科訪問医療に必要な機材、機器等を整備していない。
	訪問診療時間の確保が困難。
	歯科医師が高齢のため今後は困難と思われる。
	訪問診療に割く時間がとれないため。訪問診療において、患者さんの満足できる治療を提供できる自信がないため。
	時間的に不可能。
	今も昔も依頼があって可能なら対応している。
	既存の患者に訪問の必要性が出るかもしれないため。
	人員の確保が困難なため。
	強い要望があれば実施する予定。
	外来診療要員の人員不足が解消されるかどうか不明。
	スタッフがそろえば挑戦してみたい。
	在宅では十分な診療が困難。

(5) 歯科訪問診療料1～5の算定

(R8 年1月の1ヶ月間)

【実患者数 年齢階級別】

(人/月)

保健医療圏	総数	0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上	歯科衛生士の帯同
全体	5769.6	93	138	325	430	4779.5	3747
県南東部	3762.5	17	26	116	258	3342.5	2324
県南西部	1109.1	3	30	69	66	902	966
高梁・新見	406	70	78	128	78	72	63
真庭	8	—	—	—	1	7	—
津山・英田	484	3	4	12	27	456	394

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

歯科訪問診療料1～5の算定状況について、実患者数を年齢階級別にみると、「75歳以上」が82.8%と最も高くなっている。「歯科衛生士の帯同」は64.9%となっている。

保健医療圏別にみると、「75歳以上」は県南東部保健医療圏で8割台後半、県南西部保健医療圏で8割台前半、津山・英田保健医療圏で9割台半ばと最も高くなっている。高梁・新見保健医療圏では「40～64歳」が3割台前半と最も高くなっている。

【延べ回数 年齢階級別】

(回/月)

保健医療圏	総数	0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上	歯科衛生士の帯同
全体	8462.6	95	158	437	661	6904.5	5589
県南東部	5495.5	17	31	163	401	4945.5	3525
県南西部	1711.1	4	31	96	133	1352	1492
高梁・新見	710	70	90	164	95	106	134
真庭	9	—	—	—	2	6	—
津山・英田	537	4	6	14	30	495	438

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

延べ回数を年齢階級別にみると、「75歳以上」が81.6%と最も高くなっている。「歯科衛生士の帯同」は66.0%となっている。

保健医療圏別にみると、「75歳以上」は県南東部保健医療圏で9割、県南西部保健医療圏で7割台後半、津山・英田保健医療圏で9割台前半と最も高くなっている。高梁・新見保健医療圏では「40～64歳」が2割台前半と最も高くなっている。

【実患者数 要介護度別】

(人/月)

保健医療圏	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	42	78.5	253	335	589	674	500
県南東部	27	41.5	163	224	381	420	333
県南西部	15	36	83	101	152	175	127
高梁・新見	-	-	5	8	4	4	2
真庭	-	-	-	-	-	-	-
津山・英田	-	1	2	2	52	75	38

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

実患者数を要介護度別にみると、「要介護4」が27.3%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、県南東部、県南西部保健医療圏で「要介護4」が2割台、高梁・新見保健医療圏で「要介護2」が3割台半ば、津山・英田保健医療圏で「要介護4」が4割台半ばとなっている。

【延べ回数 要介護度別】

(回/月)

保健医療圏	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	53	81.5	395	540	842	972	713
県南東部	34	51.5	246	366	549	646	491
県南西部	19	29	142	162	215	241	181
高梁・新見	-	-	5	10	6	7	2
真庭	-	-	-	-	-	-	-
津山・英田	-	1	2	2	72	78	39

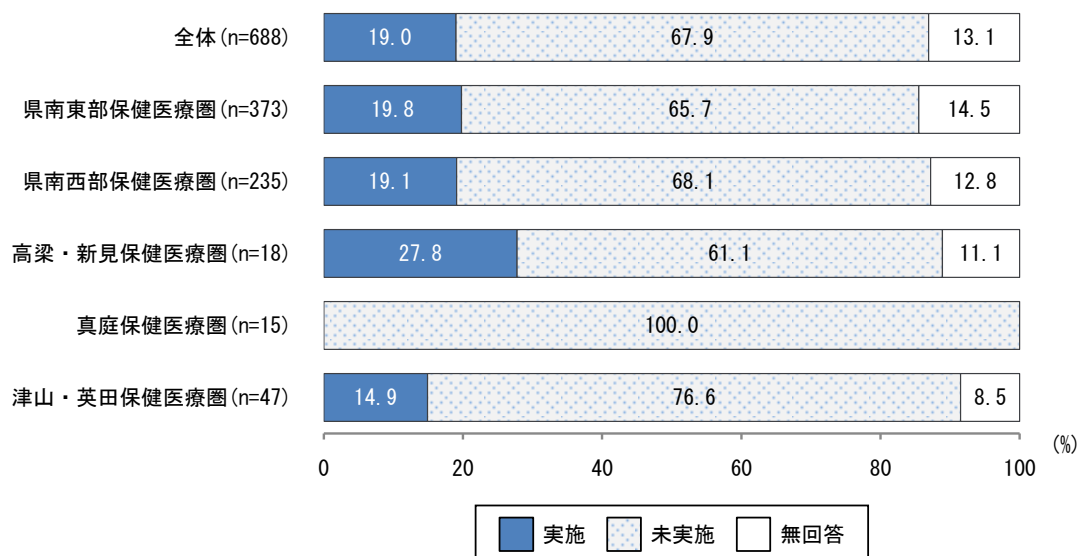
※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

延べ回数を要介護度別にみると、「要介護4」が27.0%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏で「要介護4」が2割台後半、県南西部保健医療圏で「要介護4」が2割台半ば、高梁・新見保健医療圏で「要介護2」が3割台前半、津山・英田保健医療圏で「要介護4」が約4割となっている。

(6) 訪問口腔衛生指導の実施状況

【訪問口腔衛生指導の実施状況】



訪問口腔衛生指導の実施状況について、「実施」との回答が 19.0%、「未実施」との回答が 67.9%となっている。

保健医療圏別にみると、「未実施」との回答は津山・英田保健医療圏で 7 割台後半と高くなっている。

(7)訪問歯科衛生指導料の算定

(R8 年1月の1ヶ月間)

<医療保険>

【実患者数 年齢階級別】

(人/月)

保健医療圏	総数	0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
全体	2839	44	49	133	175	2437
県南東部	2013	14	15	81	129	1767
県南西部	496	—	11	36	25	423
高梁・新見	100	30	23	15	10	29
真庭	—	—	—	—	—	—
津山・英田	230	—	—	1	11	218

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

訪問歯科衛生指導料の算定について、実患者数を年齢階級別にみると、「75 歳以上」が 85.8%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、「75 歳以上」は県南東部保健医療圏で 8 割台後半、県南西部保健医療圏で 8 割台半ば、津山・英田保健医療圏で 9 割台半ば、高梁・新見保健医療圏では「0～14 歳」が 3 割となっている。

【延べ回数 年齢階級別】

(回/月)

保健医療圏	総数	0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
全体	5562	25	77	273	348	4732
県南東部	4033	15	26	139	262	3576
県南西部	885	10	39	93	46	694
高梁・新見	215	—	12	40	19	55
真庭	—	—	—	—	—	—
津山・英田	429	—	—	1	21	407

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

延べ回数を年齢階級別にみると、「75 歳以上」が 85.1%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、「75 歳以上」は県南東部保健医療圏で 8 割台後半、県南西部保健医療圏で 7 割台後半、高梁・新見保健医療圏で 2 割台半ば、津山・英田保健医療圏で 9 割台半ばとなっている。

【実患者数 要介護度別】

(人/月)

保健医療圏	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	9	11	32	52	202	246	183
県南東部	6	6	7	16	137	156	120
県南西部	3	5	23	34	62	79	58
高梁・新見	-	-	2	2	2	1	1
真庭	-	-	-	-	-	-	-
津山・英田	-	-	-	-	1	10	4

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

実患者数を要介護度別にみると、「要介護4」が33.5%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、「要介護4」は県南東部保健医療圏で3割台半ば、県南西部保健医療圏で約3割となっている。

【延べ回数 要介護度別】

(回/月)

保健医療圏	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	12	8	48	83	449	556	389
県南東部	9	3	5	14	341	421	287
県南西部	3	5	41	66	103	123	97
高梁・新見	-	-	2	3	4	2	1
真庭	-	-	-	-	-	-	-
津山・英田	-	-	-	-	1	10	4

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

延べ回数を要介護度別にみると、「要介護4」が36.0%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、「要介護4」は県南東部保健医療圏で3割台後半、県南西部保健医療圏で2割台後半となっている。

<介護保険>

【実患者数 年齢階級別】

(人/月)

保健医療圏	総数	40～64歳	65～74歳	75歳以上
全体	1827	33	138	1645
県南東部	1373	19	96	1248
県南西部	404	13	32	358
高梁・新見	20	－	1	19
真庭	－	－	－	－
津山・英田	30	1	9	20

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

歯科衛生士等による居宅療養管理指導費の算定（介護予防含む）について、実患者数を年齢階級別にみると、「75歳以上」が90.0%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、「75歳以上」は県南東部保健医療圏で約9割、県南西部保健医療圏で8割台後半、津山・英田保健医療圏で6割台後半となっている。

【延べ回数 年齢階級別】

(回/月)

保健医療圏	総数	40～64歳	65～74歳	75歳以上
全体	4145	73	306	3780
県南東部	3273	51	228	3001
県南西部	784	20	56	716
高梁・新見	37	－	1	36
真庭	－	－	－	－
津山・英田	51	2	21	27

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

延べ回数を年齢階級別にみると、「75歳以上」が91.2%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、「75歳以上」は県南東部、県南西部保健医療圏で9割台前半、高梁・新見保健医療圏で9割台後半、津山・英田保健医療圏で5割台前半となっている。

【実患者数 要介護度別】

(人/月)

保健医療圏	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	21	52	226	244	259	256	186
県南東部	13	26	145	160	172	165	116
県南西部	8	24	72	76	82	81	61
高梁・新見	-	-	4	3	2	3	1
真庭	-	-	-	-	-	-	-
津山・英田	-	2	5	5	3	7	8

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

実患者数を要介護度別にみると、「要介護3」が20.8%と最も高なっている。

保健医療圏別にみると、「要介護3」は県南東部保健医療圏で2割台前半、県南西部保健医療圏で約2割となっている。

【延べ回数 要介護度別】

(回/月)

保健医療圏	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	28	99	466	560	592	570	432
県南東部	20	50	320	394	422	385	296
県南西部	8	44	134	155	160	166	124
高梁・新見	-	-	4	5	4	5	1
真庭	-	-	-	-	-	-	-
津山・英田	-	5	8	6	6	14	11

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

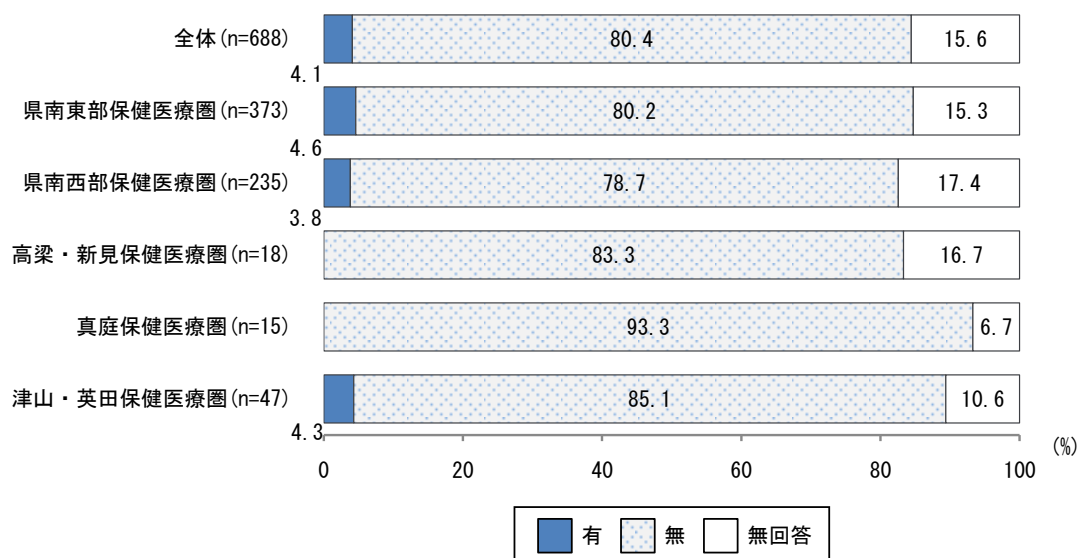
延べ回数を要介護度別にみると、「要介護3」が21.6%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏で「要介護3」が2割台前半、県南西部保健医療圏で「要介護4」が2割台前半、津山・英田保健医療圏で「要介護4」が2割台後半となっている。

(8) 栄養サポートチーム等との連携

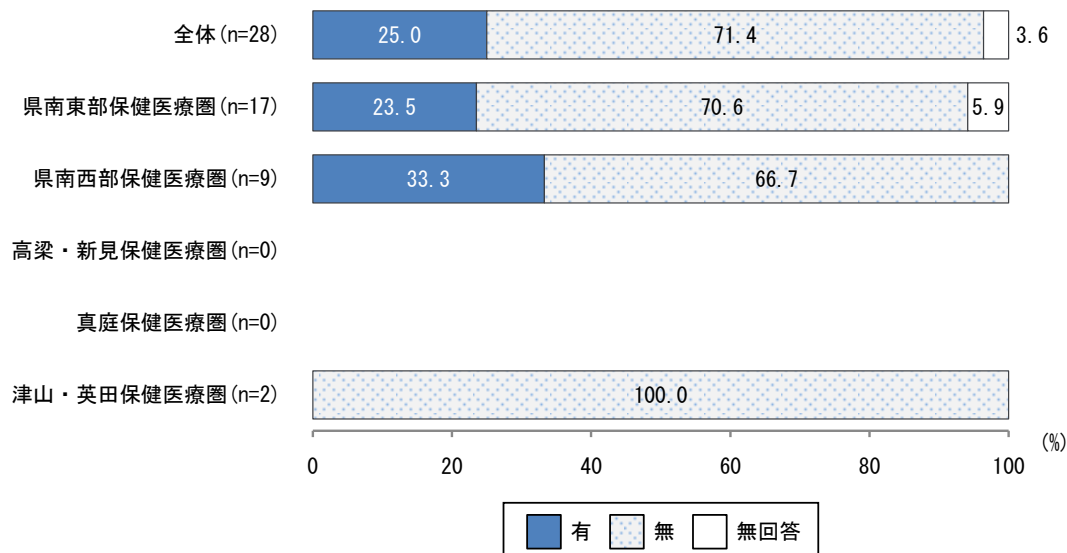
(R8 年1月の1ヶ月間)

【栄養サポートチーム等との連携】



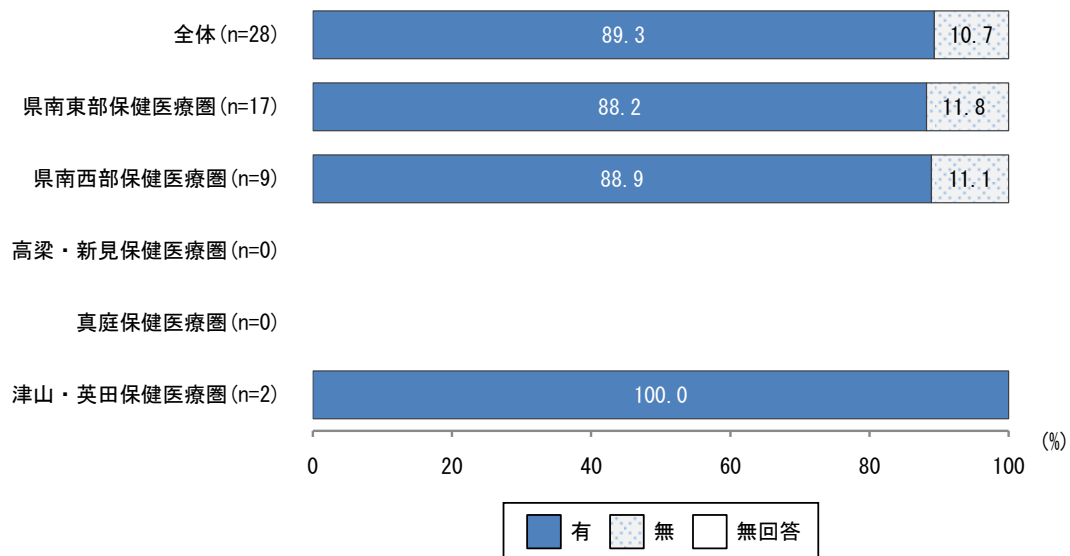
栄養サポートチーム等との連携について、「有」との回答が4.1%、「無」との回答が80.4%となっている。保健医療圏別にみると、「無」との回答は津山・英田保健医療圏で8割台半ばと高くなっている。

【うち患者の入院する医療機関】



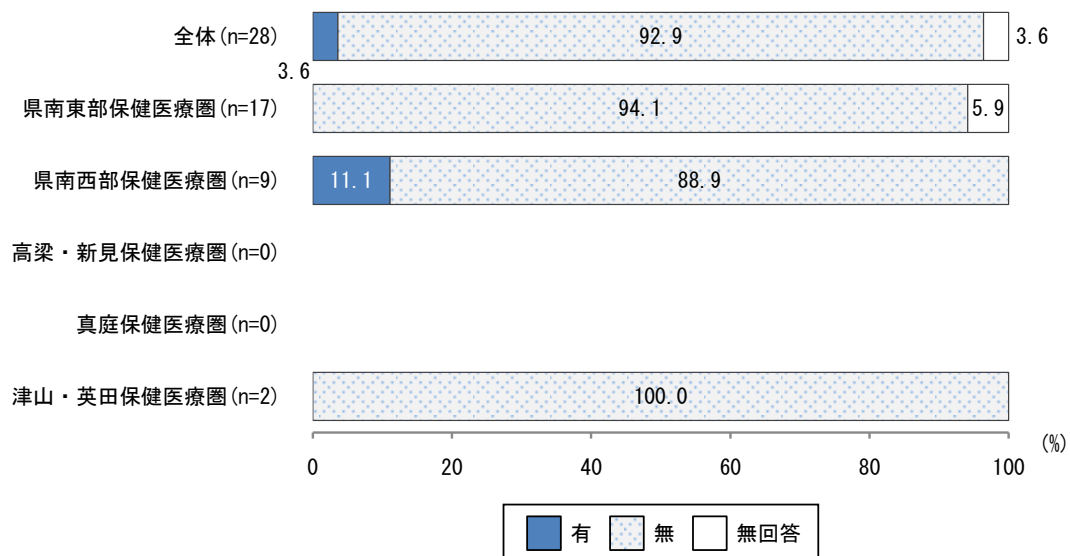
うち患者の入院する医療機関との連携について、「有」との回答が25.0%、「無」との回答が71.4%となっている。

【うち患者の入所する介護保険施設】



うち患者の入所する介護保険施設との連携について、「有」との回答が 89.3%、「無」との回答が 10.7% となっている。

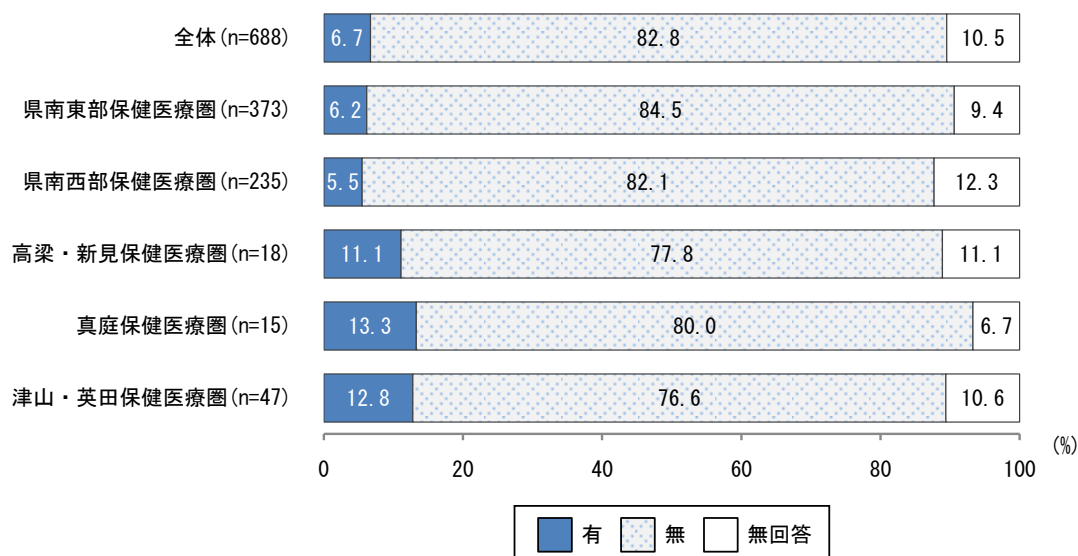
【うち患児の入所する障害児入所施設等】



うち患児の入所する障害児入所施設等との連携について、「有」との回答が 3.6%、「無」との回答が 92.9% となっている。

(9)在宅療養支援病院又は在宅療養支援診療所からの歯科訪問診療の依頼

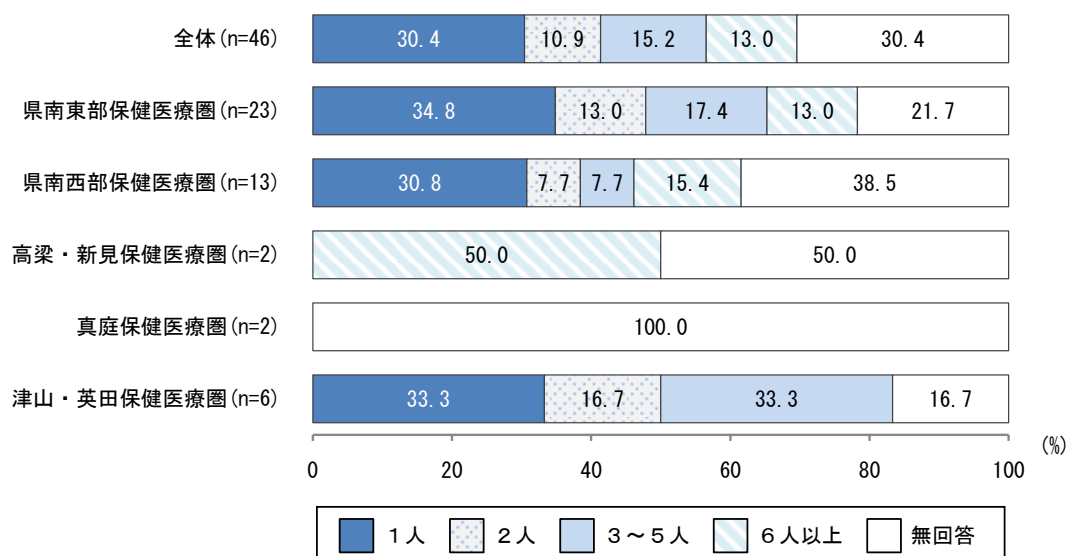
【在宅療養支援病院又は在宅療養支援診療所からの歯科訪問診療の依頼】



在宅療養支援病院又は在宅療養支援診療所からの歯科訪問診療の依頼について、「有」との回答が6.7%、「無」との回答が82.8%となっている。

保健医療圏別にみると、「有」との回答は津山・英田保健医療圏で1割台前半と高くなっている。

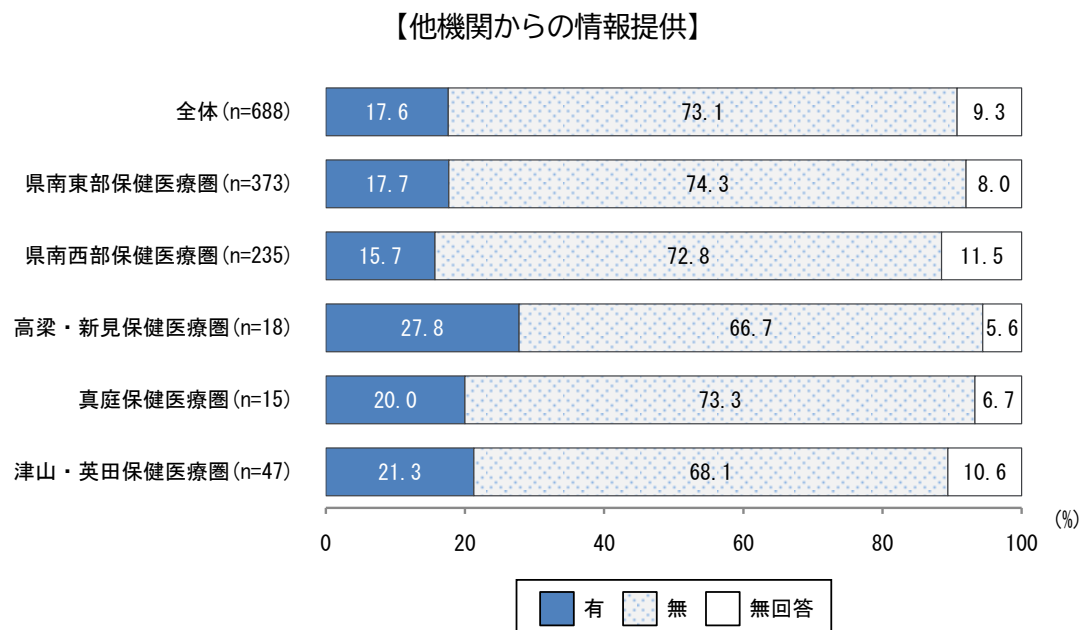
【連携した患者数 (R8年1月の1ヶ月間)】



連携した患者数について、「1人」との回答が30.4%、「2人」との回答が10.9%、「3～5人」との回答が15.2%、「6人以上」との回答が13.0%となっている。

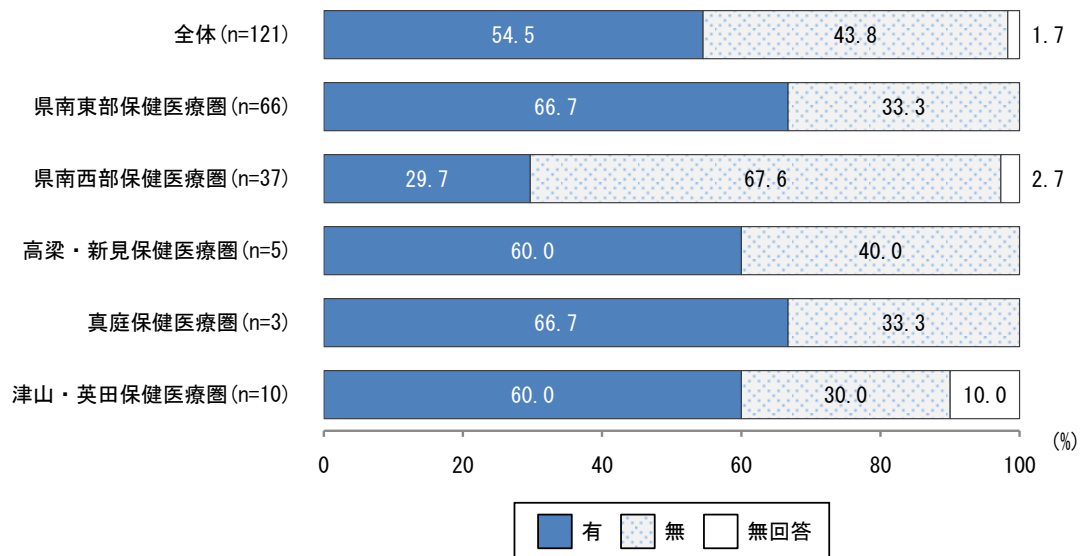
保健医療圏別にみると、「1人」との回答は県南東部保健医療圏で3割台半ばとなっている。

(10)他機関からの情報提供



他機関からの情報提供について、「有」との回答が17.6%、「無」との回答が73.1%となっている。
保健医療圏別にみると、「有」との回答は津山・英田保健医療圏で2割台前半とやや高くなっている。

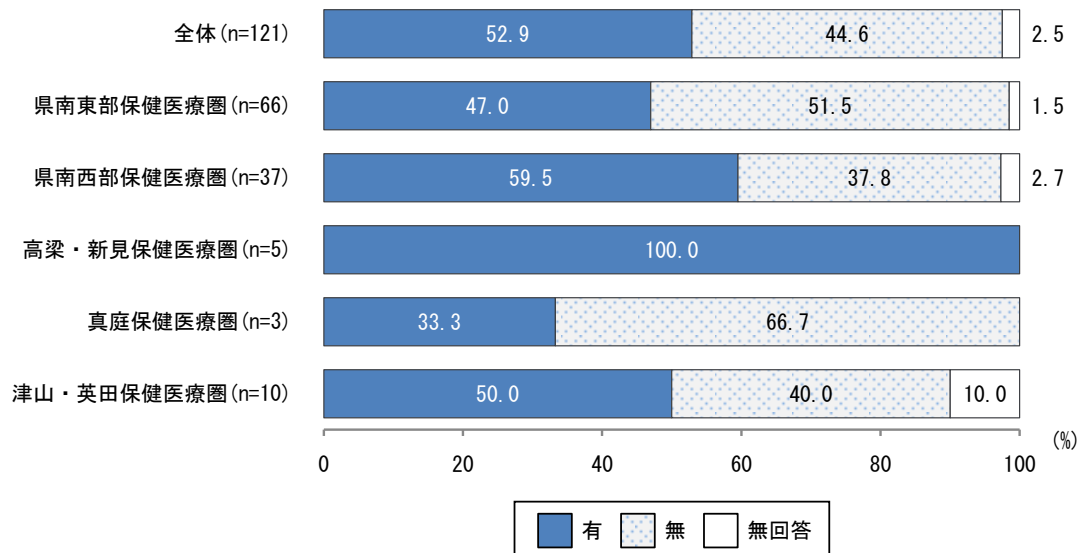
【在宅療養支援病院や在宅療養支援診療所以外の医療機関】



在宅療養支援病院や在宅療養支援診療所以外の医療機関からの情報提供について、「有」との回答が54.5%、「無」との回答が43.8%となっている。

保健医療圏別にみると、「有」との回答は県南東部保健医療圏で6割台後半と高くなっている。

【介護保険施設】

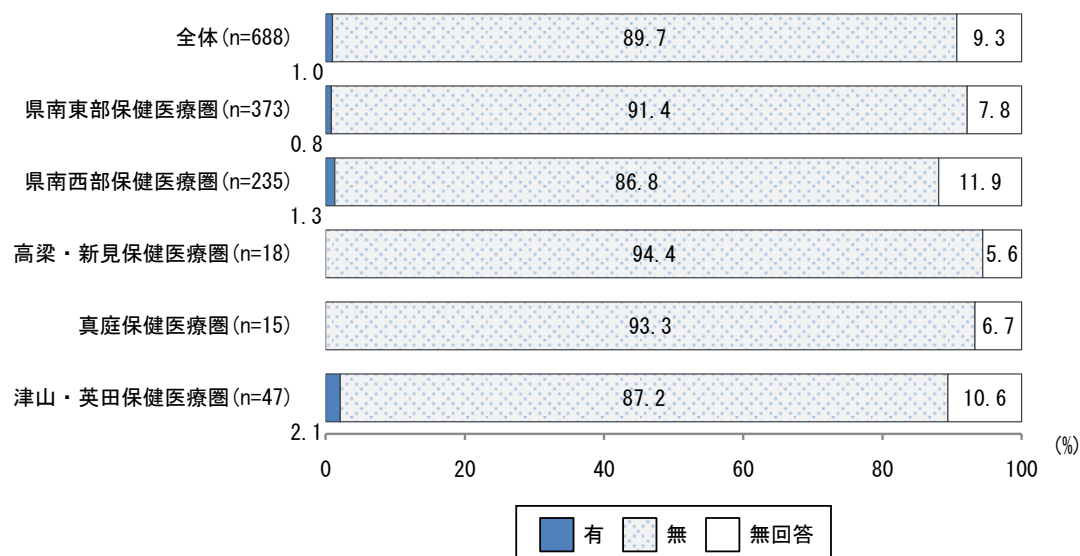


介護保険施設からの情報提供について、「有」との回答が52.9%、「無」との回答が44.6%となっている。

保健医療圏別にみると、「有」との回答は県南西部保健医療圏で約6割と高くなっている。

(11)18 歳未満の在宅療養児の他機関からの情報提供

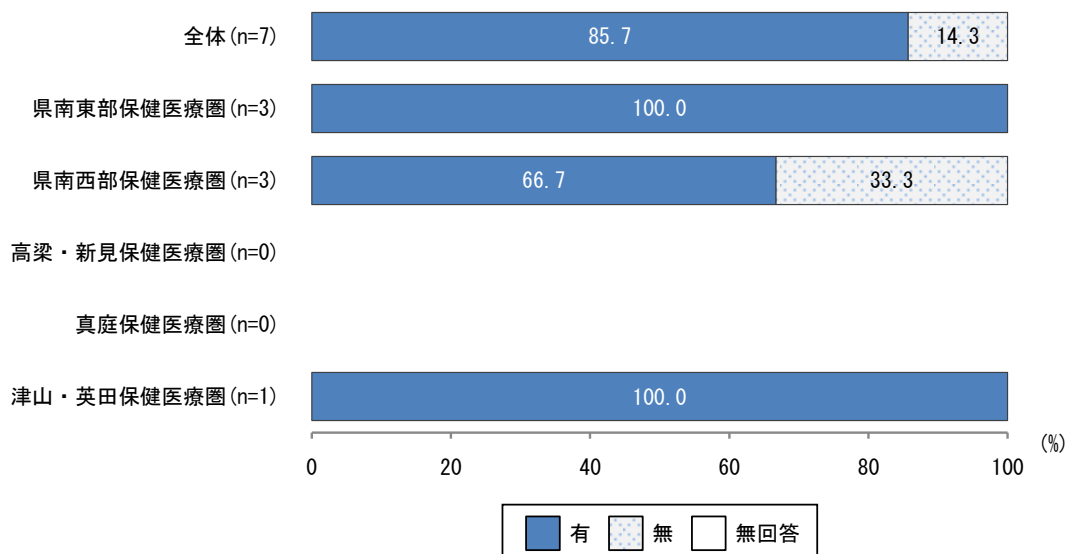
【18 歳未満の在宅療養児の他機関からの情報提供】



18 歳未満の在宅療養児の他機関からの情報提供について、「有」との回答が 1.0%、「無」との回答が 89.7% となっている。

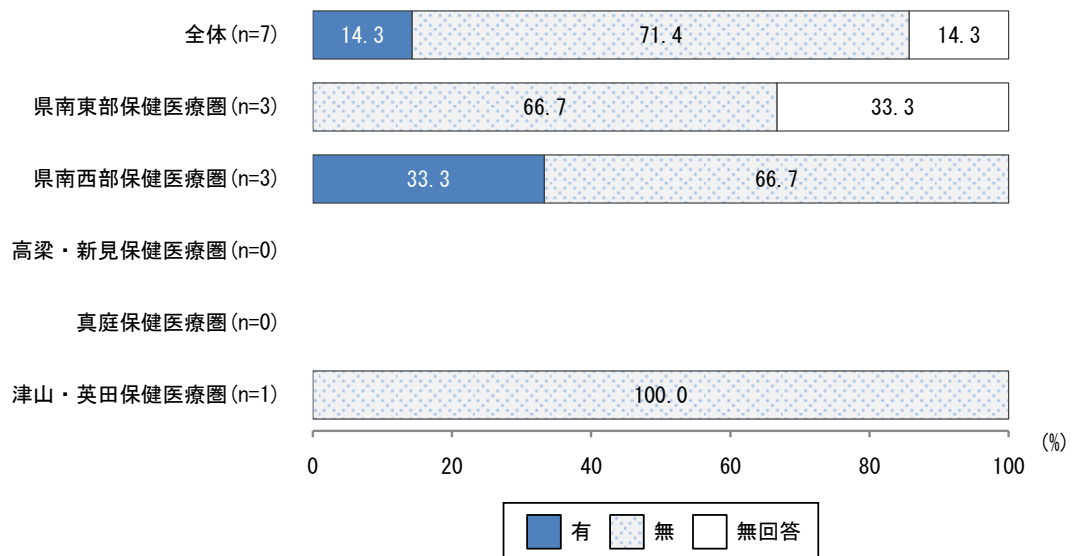
保健医療圏別にみると、18 歳未満の在宅療養児の他機関からの情報提供に大きな差はみられない。

【医療機関】



医療機関からの情報提供について、「有」との回答が 85.7%、「無」との回答が 14.3% となっている。

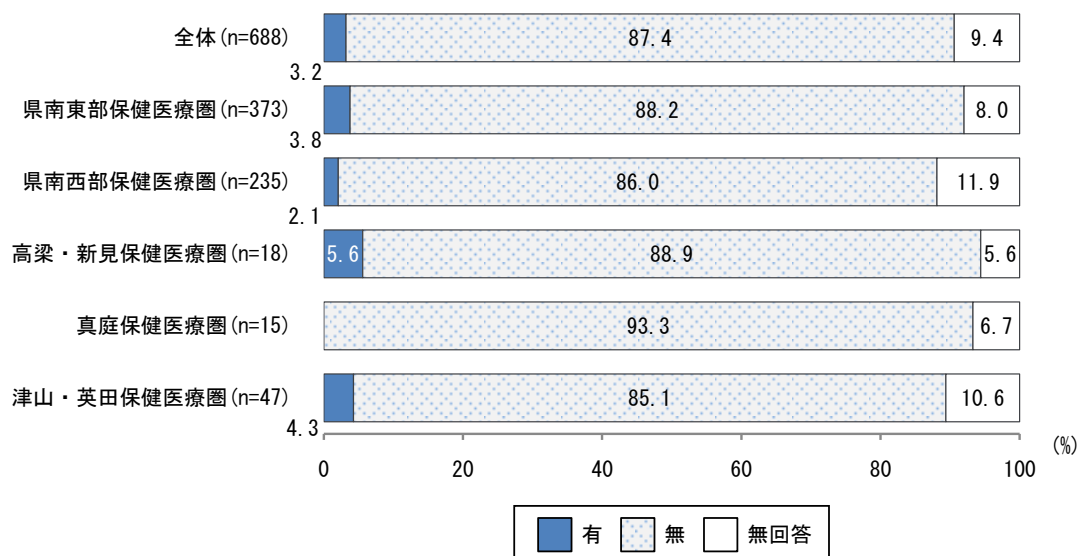
【障害児入所施設等】



障害児入所施設等からの情報提供について、「有」との回答が 14.3%、「無」との回答が 71.4%となっている。

(12)多職種連携時の ICT の活用

【多職種連携時の ICT の活用】



多職種連携時の ICT の活用について、「有」との回答が 3.2%、「無」との回答が 87.4%となっている。保健医療圏別にみると、他職種連携時の ICT の活用に大きな差はみられない。

【活用している ICT の種類】

		MCS	ケアキャビネット	カナミック	チャット	バイタルリンク	LINE	その他	無回答
全体 n= 22		22.7	-	-	4.5	-	68.2	18.2	-
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 14	28.6	-	-	-	-	57.1	28.6	-
	県南西部保健医療圏 n= 5	20.0	-	-	20.0	-	80.0	-	-
	高梁・新見保健医療圏 n= 1	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	真庭保健医療圏 n= 0	-	-	-	-	-	-	-	-
	津山・英田保健医療圏 n= 2	-	-	-	-	-	100.0	-	-

活用している ICT の種類について、「LINE」との回答が 68.2%と最も高く、次いで「MCS」(22.7%)、「チャット」(4.5%)などの順となっている。